

徳島県企業局経営計画における「進行管理表」の 平成 30 年度進捗状況及び評価について

1 徳島県企業局経営計画の推進方策

- 平成 29 年度を初年度とする 10 年間の「企業局経営計画」について、計画的に事業を実施し、効果的・効率的な事業の推進を図るため、PDCA サイクルによる進行管理を実施
- 平成 30 年度の進捗状況について、「企業局戦略会議」で評価し、外部有識者による「戦略的経営推進委員会」に報告、意見を聴取
- 進捗状況及び評価の結果を、企業局ホームページで公表

2 進行管理表の達成状況別取組数

取組数	進 捗 状 況			
	A 順調または妥当	B 概ね順調または概ね妥当	C 要 努 力	D 要 見 直 し
61 【H29実績】	49 (80%) 【47 (77%)】	11 (18%) 【13 (21%)】	1 (2%) 【1 (2%)】	0 (0%) 【0 (0%)】

主な実績と評価

【 】はH29の評価

経営目標 1 社会貢献の加速

- A No. 1：廃止発電所、砂防堰堤などを活用した実証モデルの検討・導入
(KPI：平成32年度から小水力発電施設の実証実験，③⑩詳細設計)
③⑩神山町における新神領発電所（仮称）の建設計画を策定、予算要求
- A No. 4：東京五輪キャンプ地誘致を見据えたカヌー拠点の整備支援
【B】 (KPI：平成29年度末までに艇庫用地整地及び外灯設置，③⑩キャンプ地誘致・連携)
③⑩カヌーセンター構内整備がH30.11に完了、ドイツ代表チームがトレーニングキャンプを実施
- C No. 7：地域が進める森づくりを支援
(KPI：平成33年度までの5年間で500haの取得支援，③⑩100ha/年)
③⑩89ha：那賀町60.4ha＋上勝町29.12ha＝89.52ha

経営目標 2 安全安心の確保

- A No. 17：工業用水道管路の耐震化
(KPI：平成33年度末までに緊急性の高い管路8.4kmの整備，③⑩40%完了)
③⑩進捗率43%：今切配水本管管更生により耐震化が316m進展
(KPI：応急的な河川からの直接取水について、他機関との連携・推進)
③⑩農水管との接続、河川からの直接取水に係り、関係機関と協定書締結
- B No. 19：土木構造物の耐震化への集中投資
【A】 (KPI：日野谷発電所、川口ダム施設の耐震化の実施)
③⑩日野谷発電所水圧鉄管、水路橋の耐震化着手
- A No. 40：大学、民間等の連携
【B】 (KPI：産官学連携による点検等の省力化、効率化の調査・研究)
③⑩徳島大学と共同研究によりインフラ点検ロボットの仕様決定・開発・導入

主な実績と評価（つづき）

経営目標 3 経営力の強化	
A	No. 45：他部局、他機関との積極的な人事交流 (KPI：他部局等との人事交流の実施, ⑩1名以上/年) ⑩4名：那賀町をはじめ、他部局へ4名を派遣
A	No. 46：大学、民間等との連携 (KPI：職員スキルアップのための共同研究等) ⑩自然エネルギー地産地消モデル構築のため、阿南高専と共同研究を実施
B	No. 53：駐車場の他施設、イベント等との連携 (KPI：キャンペーン等の実施 年2回以上) ⑩アイスクリームや携帯カイロの無料配布等のキャンペーンを3回実施 →駐車台数の増にはつながっていない

3 経営計画の取組事項と進捗状況の評価

取 組 事 項	項目数	評 価			
		A	B	C	D
経営目標 1 社会貢献の加速					
① 自然エネルギー導入の加速	3	1	2	0	0
② 既存ストックの有効活用と政策連携による地方創生への貢献	7	6	0	1	0
③ 戦略的な情報発信の推進	5	5	0	0	0
経営目標 2 安全安心の確保					
④ 南海トラフ巨大地震・活断層地震対策、老朽化対策	6	5	1	0	0
⑤ 危機管理体制の強化	8	8	0	0	0
⑥ 適正な施設の維持管理	5	5	0	0	0
⑦ 工事、維持管理等の効率化	2	2	0	0	0
経営目標 3 経営力の強化					
⑧ 未来を切り拓く人づくりと組織づくり	7	7	0	0	0
⑨ 経営資源の有効活用	11	5	6	0	0
⑩ 情報収集の強化	7	5	2	0	0
計（再掲を除く）	61	49	11	1	0

4 戦略的経営推進委員会での主な意見（令和元年8月1日開催）

- ・利益を確保した上で、計画的な修繕工事を実施していただきたい。
- ・安全安心の確保のため、計画的に工事の進捗を図っていただきたい。